

はい！元気です



新生『大崎ソフトボール スポーツ少年団』

『大崎ソフトボールスポーツ少年団』は、現在、町内の各小学校から集まった団員16名で活動しています。町内には昨年度まで、4つのソフトボール少年団がありましたが、団員減少のため、大崎・中沖・持留MSの3団を統合した新生『大崎ソフト』として平成25年4月から再スタートしました。そのうち最も古い大崎ソフトは、新留勝郎前監督が、昭和49年に設立し、全国大会の優勝を始め、何度も県大会を制したチームです。全国制覇の記念碑のある研修センターグラウンドで、日々練習していますが、新生『大崎中学校』に向けての交流にもなっています。



監督

岩元 貴幸

鹿児島県はソフトボール少年団が盛んで、最盛期は240を超えるチームがあり、県出身プロ野球選手のほとんどがソフトボール少年団出身です。これまで、大崎ソフトから3名、中沖ソフトから1名のプロ野球選手が誕生しております。また、OBの松山選手や榎田選手は毎年、1月3日の練習始めにグラウンドを訪れ、子どもたちと交流してくれる素晴らしい先輩です。子どもたちは、次代のプロ野球選手をめざして、日々頑張っています。



特命！カメラマン

ふるさとの風景を激写せよ！

No. 55 教育委員会管理課

学校統合推進室主査兼指導主事係 松尾 誉

ほまれ

中学校統合に関することを担当しています。

～持留の溪流にある『轟の滝』～

県道64号を仮宿から野方方面へ走り、持留小学校を過ぎた先のカーブが多い区間（現在は工事中）のちょっと先にある小さな滝です。

趣味の自転車で、よく仮宿から照日神社まで走りますが、道中溪流から聞こえるせせらぎの音が身も心も癒してくれます。車も便利ですが、たまには歩いたり自転車に乗ったりして、自然の声を聞きながら折々の風景を見るのもいいものです。

